

ま

や訓練風景

潜水作業

海上保安庁では、潜水員として「海猿」が有名ですが、海上自衛隊の各護衛艦においても、潜水員が指定されています。今回は、「まや」潜水員に潜水の仕事について伝えてもらいます。



いざ、ダイビング！



それでは、「潜水員」とはどんな仕事なのか、「まや」潜水員であるS2曹に聞いてみました。

S2曹：

潜水員とは、海上自衛隊の潜水課程を修業した隊員のみが就ける配置です。潜水課程では、海自のみならず、陸自（空挺）、空自（救難隊）の他、消防士（ハイパーレスキュー）、警察官から選抜された人たちとともに訓練を行います。普通に呼吸できることがいかに幸せなことなのかを感じつつ、厳しい訓練に臨みます。

潜水課程を修業した後は、それぞれの部隊において潜水員に指定され、海中の逸失物の搜索、船底調査等の作業を行うほか、海中転落者が発生した時には、海に飛び込んで救助に向かう役割を担います。

このような危険を伴う作業を行うには、日頃からの訓練が欠かせません。現在は約3か月に1回程度、3日間の潜水訓練を実施しています。

横須賀の海は50cm先も見えない程濁っている場合がほとんどです。視界が悪い水中での訓練は何よりも安全が重要ですので、一緒に潜水する仲間（バディ）との連携を最も大切にします。特に、バディの不得意分野を理解し、互い補い合うように努力しています。その上で、ありとあらゆる事象を想定し柔軟に対応できるよう、事前の準備を怠らないようにしています。

他方、海外や沖縄に行った際は、綺麗な海で潜ることができるため、とても楽しく潜水作業を実施できます。また、潜水作業の時間によって、通常の給与とは別に手当が支給されます。

このように、潜水員は厳しい部分もありますが、とてもやりがいのある魅力的な仕事です。



潜水員
S2曹





※ 写真・図・資料・その他の無断転載はご遠慮下さい。